

Weekly Report



名古屋アイリスロータリークラブ

例会日	水曜日13:00～14:00	会長	岩崎幸弘
例会場	ANAクラウンプラザ グランコートホテル名古屋	幹事	加藤正広
承認	2013年6月18日	公共イメージ 向上	深見礼子



2019～2020年度名古屋アイリスRCのテーマ

アイリスは 希望に満ちて 新時代
～前途洋々～

●お問い合わせ：office@nagoya-iris-rc.jp

●公式WEBサイト：http://www.nagoya-iris-rc.jp

第284回 例会

2019年8月7日 13:00～

- 司 会 島村恵三 例会運営・司会委員長
- 斉 唱 君が代 奉仕の理想
- 出席報告 出席者数 17名 / 34名
出席率 65.11%
- ゲ ス ト 米山奨学生 施艶霞さん
- ビジター

ニコボックス

- 加藤正広 幹事
施艶霞さん、卓話楽しみにしています。
- 荒山久美 副幹事
今月お誕生日月なので入れさせていただきます。
- 安井忠 会員増強委員長
待望の弥生プライマル事業所棟及び電材ロジセンターが8月5日に完成しました。2年6ヶ月の建築でした。これで大府へ出社するだけで(タマには)何処へも行かなくてすみます。
- 藤谷 猛 クラブ戦略委員長
危機管理セミナーに行ってきました。日本のロータリーでもとんでもないことが起きていることを知りました。アイリスでも準備をしておかないといつか大変なことになるかもしれませんよ！！
- 安井嗣博 ロータリー財団副委員長
2年6ヶ月かかってようやく大府本社と電材ロジセンターが完成しました。遊びに来て下さい。
- 綿貫達雄 会員
多額のご寄付を頂きました。
- 櫻井孝充 会員
先日は福田社長、美味しいフレンチをありがとうございました。岩崎会長ハートをつかむミニコンサートありがとうございました。綿貫さん素敵な情報をありがとうございました。

8月度 誕生日お祝い

- | | |
|------------|------------|
| 13日 荒山久美さん | 28日 野田陽子さん |
| 15日 綿貫達雄さん | 31日 林 功さん |
| 19日 藤谷 猛さん | 31日 深見礼子さん |

会長挨拶



みなさんこんにちは。
梅雨も明け、いよいよ8月に入りました。季節が変わり本格的なあつい夏がやってきました。精力的に頑張りましょう。みなさま、今日もご出席いただきましてまことにありがとうございます。本日の

テーマ曲ですが……。8月7日ということで『花のワルツ』でございました。この曲はクリスマスでは定番の曲であり、夏に聴くのは違和感が多少あるかもしれませんが、そこは8月7日ですのでご了承ください。作曲は、ご存知チャイコフスキーの(Pyotr Ilyich Tchaikovsky/1840-1893)、本名はピョートル・イリイチ・チャイコフスキーと云います。バレエ組曲「くるみ割り人形」より聴いていただきました。『花のワルツ(Waltz of the Flowers)』は、ロシアの作曲家チャイコフスキーによるバレエ音楽「くるみ割り人形(The Nutcracker)」の中の1曲。花の精たちによる踊りの場面で奏でられる、とても華やかな曲です。1892年3月19日に初演されたといわれています。

序奏では、美しいハーブのカデンツァ(即興的独奏)に始まり、続いてホルンにより主題が提示される。そして有名なワルツの旋律に入り、フルートがウィーン風のメロディーを提示し、情熱的なヴィオラ・チェロが続いていく。1840年5月7日にロシアに生まれたチャイコフスキーは1893年53歳で亡くなりました。ロシア皇帝アレクサンドル3世によって国葬が決定され、サンクトペテルブルクのカザン大聖堂にて国葬が執り行われた。

《バレエ組曲【くるみ割り人形】の簡単なあらすじ》
バレエは二幕三場の構成で、主人公はシュタールバウム家の末娘、クララ。クリスマスイブの夜、自宅でパーティが開かれ、賑やかなダンスを大人も子供も楽しんでいます。魔法使いのようにミステリアスな雰囲気の漂う、人形使いのドロッセルマイヤーおじさんは、子供たちにクリスマスプレゼントを配ります。クララは、不格好な「くるみ割り人形」をもらい、なぜかとても心惹かれるのです。ところが兄のフリッツがくるみ割り人形を貸してくれと取り合いになり、人形が壊れてしまったのです。クララは自分のドレスの白いリボンを人形に巻き、夜遅くまで一人で看病してあげます。真夜中の12時の鐘が鳴った時、なんとクララの体は小さくなり、人形ほどの大きさになってしまうの

です。するとどこからともなくねずみの王様が率いる軍隊と、それに対抗するおもちゃの兵隊たちが現われ、戦争を始めます。おもちゃの兵隊たちのリーダーは、クララの看病していたくるみ割り人形でした。激しい戦いの末、くるみ割り人形とねずみの王様の一騎打ちが始まります。劣勢だったくるみ割り人形をクララが助け、おもちゃの兵隊たちの勝利へと導いたのです。するとなんと、くるみ割り人形が凛々しい王子様に変身したではありませんか！王子は自分を助けてくれたクララを、お菓子の国へと誘うのです。途中の真っ白で幻想的な雪の国では、キラキラ輝く雪の精や、美しい雪の女王が踊っています。お菓子の国に着くと、お菓子の国の女王「金平糖の精」が二人を歓迎し、各国のお菓子の踊りを披露してくれます。スペインの踊り(チョコレート)、アラビアの踊り(コーヒー)、中国の踊り(お茶)、ロシアの踊り(トレバック:大麦糖の飴菓子)、フランスの踊り(ミルリトン:アーモンドクリームパイ)、花のワルツなど。甘やかで夢のような時間を過ごすクララですが、楽しい時間はあっという間に過ぎ…。気が付くと、クララは自分の家のクリスマスツリーの下で目を覚めます。クリスマスイブに美しい夢を見たクララは、傍らのくるみ割り人形を愛しそうに抱きしめ、幕が閉じます。

これは バレエのおはなしですが……

事程度左様に 芸術というものはわからないことが多いです。現在 行われておりますあいちトリエンナーレでもわたくしの会社はパフォーマンスアーツのチケット販売管理と当日運営の業務を受けております。

芸術の是非を云う立場にありませんが、芸術論争に法律問題や外交問題が上乗せされ 税金の使い方まで 論点が移動してきています。加えて脅迫めいた電話やメールなどが寄せられ運営に関与しているわたくしたちにとっては、何か厳しい現実を目の当たりにしております。8/1から10/14までの期間 緊張感をもってやりきりたいと思います。

卓 話

卓話者: 米山奨学生 施艶霞さん

テーマ: 中国におけるアイドルファンの行動



以前の中国では日本のように自由なメディア活動が遅れていました。しかし改革・開放政策に伴い、香港や台湾の文化が中国大陸に浸透し、ラジオは香港や台湾のアイドルに触れる主な手段になりました。

大陸ではラジオを通して、歌のリクエストや書評や娯楽番組などが発展するようになり、これらの番組でも大勢のファンを獲得するようになりました。しかしながら当時番組のファンの活動はテープレコーダーを購買収集することとどまっており人々が入手できる情報は非常に限られていたため、ファンにとってスターは神秘性を帯びた憧れの対象であり、遠い存在であったのです。そして近年では世界の距離を縮めたインターネットの普及に伴ってアイドルの神秘さがな

くなり、ファンとの距離も縮まったのです。中国社会におけるファン文化はエリート文化から大衆文化に転換し、ファンもアイドルに対して、信仰的な立場から保護的な立場に移る傾向になりつつあります。この時期に多様なファン活動が現れはじめました。

以上の背景より①中国社会のアイドルファンの変容、②アイドルファンの日常活動と特別活動、③アイドルファンの消費活動、④アイドルファンの公益活動、⑤アイドルファンの応援活動 などについて研究されている要旨を発表して頂きました。

